

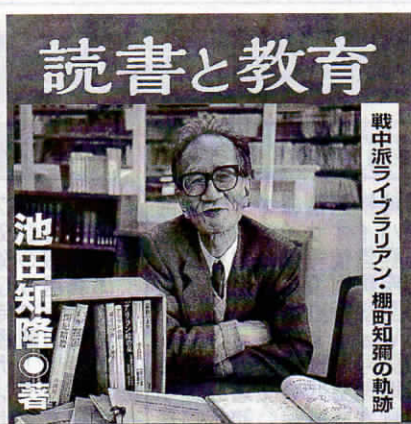
# 読書は「人生変える」

## 伝説の国語教師との逸話紹介

### 元毎日新聞・池田さん 伝記本を出版

元毎日新聞論説委員、池田知隆さんが伝記本「読書と教育―戦中派ライブラリアン・棚町知彌の軌跡」を約3年かけて書き上げ出版した。池田さんの恩師ともいえる国語教師の

熊本県生まれ。早稲田大政



### 感動の評伝!

ノンフィクション作家 後藤正治氏推薦

稀有の読書教育者がいた。彼はいかにして生まれ、何を確信したか、新聞記者となった教え子がたどる評伝は、痛切な戦中・戦後史であり、教育の可能性と次世代への示唆深いメッセージを伝えている。

現代書館刊

戦中派ライブラリアン 棚町知彌の軌跡

池田知隆◎著

経学部を卒業して毎日新聞に入社後、社会部、学芸部などを経て論説委員を務める。退職後は大阪市教育委員会委員長、追手門学院大客員教授などを歴任し、現在は同志社女子大講師、ジャーナリスト、一般社団法人大阪自由大学理事長。「団塊の(青い鳥)」(現代書館)、「日本人の死に方」(以上、「新聞記者」(以上、実業之日本社)などの著書がある。

棚町は思想検事の子に生まれ、皇国少年として自己を形成し、戦後はGHQ検閲官となった。棚町が見い

だしたのは、読書鍛錬術という教育の王道だった。棚町は半世紀以上前、「本を読もう」と繰り返し語った伝説の国語教師で、著者の池田さんは棚町の生き方と読書論・教育論から多大な影響を受けた。

「入学時」▽「技術者像」▽「伝記」▽「8月15日を前に」▽「長編への取り組み」▽「青春・友情・恋愛」

▽「社会」―などに分類して本を推薦。生徒に読ませた棚町の手法は現代にも十分に応用できる普遍性を帯びている。読書には「人生を変える」とてつもない力が備わっていることを改めて痛感させられる労作だ。

B6判、246頁。現代書館。2160円(税込み)。(大山勝男)

大阪発  
げんき発信  
水曜プラザ

大阪毎日新聞